

福祉のまちづくり懇談会 (H27. 8. 4 松山・竹丘) ニュース

●当日の振り返り

今回の懇談会には 33 名の方がご参加くださり「松山・竹丘地区の困りごとや気になること」について、グループごとに話し合いました。地域住民の皆様をはじめ、福祉関係者の方々等、様々な視点から多くの意見が出ました。ありがとうございました。

●地域の困りごと・気になること

以下は各グループから多く出た意見です。

・【地域のつながり】…生活様式の変化により「近所づきあいの減少」「コミュニケーション不足」を実感されている方が多く、これに関連し外国籍の方の増加から「言葉の壁がありコミュニケーションがうまくとれず困りごとに気づきにくい」との意見もありました。



・【高齢者】…高齢者世帯が増えていることから「病気や災害時の心配」「一人暮らし高齢者の孤立に対する不安」「買い物や階段昇降の不便さ」「閉じこもり気味の方がいて、認知症の進行が心配」といった声がありました。

・【子ども子育て】…親の仕事の関係もあり「夕方から夜間にかけて子どもだけで過ごす光景を目にする」「中学校卒業後に相談する大人がいない」など子どもたちへの支援の必要性を訴える意見の他、母子家庭や貧困家庭に関連して一人親支援に対する意見もありました。

●地域にほしい取り組み

これらの意見を踏まえて、地域にほしい取り組みについて意見交換をし、「一人でもできそうなこと」「何人かいればできそうなこと」「地域全体で頑張ればできそうなこと」の 3 つに分類しました。

・【地域のつながり】では、「挨拶をおこなう」「地域で困っている人と手助けできる人をつなぐコーディネーター(住民のリーダー等)を地区に配置したい」「誰もが気軽に集まれる場所づくり」「商店の充実や空き店舗の再利用」「防災訓練の実施」

・【高齢者】では、「世代間交流を活発化したい」「声かけや見守りボランティアの充実」「エレベーター設置に向けた署名活動」

・【子ども子育て】では、「子どもの集まれる場所づくり」「地域センターの一部に子連れの休憩スペースをつくる」「施設入所児に対する週末お泊り受け入れボランティア」

●次回の懇談会に向けて

参加者の方からは「様々な立場の方々と意見交換ができて良かった」「続けて参加したい」等のお声をいただきました。全体を通して地域や人とのつながりに関する意見が多く、日頃の気づきを共有することができ、課題や問題解決に向けた一つの動機づけになったのではないかと思います。今後もより多くの方に参加をしていただき、地域の方と一緒に住みよい福祉のまちづくりを目指し取り組んでいきたいと思ひます。ご協力よろしくお願ひ致します。